

【10】修得すべき知識能力

(1) 学部・学科

表現学部

総合文化学科

主要科目の特長と目標

1. プロゼミ

1年生の前期と後期に20名以下の少人数で行う必修科目です。大学生活で必要になる「見る・聞く・読む」ための基本的な技術を身につけ、さらに「調べる・語る・書く・表現する」という発信する力の養成へとステップアップしていきます。

2. 神話学入門

世界のさまざまな神話について学びます。世界各地の神話の中から関心のあるテーマを選び、教科書にしたがって順次レポートしてもらいます。

3. ユーラシアの神話1

テュルク（トルコ）系諸民族を中心に、ユーラシア各地に伝わる叙事詩・神話・伝説・信仰を題材として、ユーラシアに暮らす人びとの精神世界の様々なイメージを探り、物語のおもしろさやそこに秘められた謎を解く楽しみを学びます。

4. 日本語のしくみを考える

敬語、依頼・勧誘の表現、比喻表現、新語・新用法、指示表現、助詞の使い分け、類義語、意味分析、会話のしくみ、文章の構造、など日本語学のテーマは様々です。この授業では受講生各自が興味を持つテーマを選び、論文の作成に取り組みます。身近な日本語の現象を深く観察し、そこにある「日本語のしくみ」を考えていきます。

5. 英語コミュニケーションと文化

言語学習の大きな意義の一つは“言葉を用いて人と繋がる”喜びを経験することだと考えます。それを可能にするコミュニケーション能力の本質について掘り下げます。また、英語で自分の考えや気持ちを伝えるために必要なことは何かを考え、プレゼンテーション力を身につけます。

6. 卒業論文・卒業制作

各自が追究するテーマを論文（場合によっては映像・造形など制作）という形で表現することで、4年間の学びの集大成とします。3年次の終わりにテーマを決定し、指導教員から個別指導を受けながら、1年間かけて作成します。論文提出後には指導教員と副指導教員による面接を行い、さらに卒業論文・卒業制作発表会でその成果を発信します。